

教科	地歴	科目	地理B			単位数	3
学科	普通科	履修学年	2	コース	文系	必修・選択	必修
教科書	『新詳地理B』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	『新詳地理資料 COMPLETE 2018』（帝国書院） 「2018 データブック・オブ・ザ・ワールド」（二宮書店） 「新地理の研究」（啓隆社）						

学習目標		現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
指導の重点		現代の世界は、「グローバル化」「国際化」といわれるほど、さまざまな国との交流がめざましくなっている。そんな中お互いの国のことを理解することこそが大切な時代になっている。地理ではそれぞれの国での生活・文化を概観し、また課題を解決する力を養い、国際人として生きる力を身につけさせ指導する。					
学 習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)			評価方法	
	1学期 (30)	Ⅲ部 現代世界の地誌的考察  2章 現代世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。</li> <li>・ロシアの自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。</li> <li>・アングロアメリカの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。</li> <li>・ラテンアメリカの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。</li> </ul>			提出物 授業の取り組み 定期テスト	
		2学期 (36)  3学期 (30)	Ⅲ部 現代世界の地誌的考察  2章 現代世界の諸地域  3章 現代日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オセアニアの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。</li> <li>・日本や世界が抱えるさまざまな規模の地理的な諸課題について、歴史・政治・経済的分野との関連性もふまえて探究学習を行う</li> </ul> 自然災害と防災 環境問題 食料問題 資源・エネルギー問題 人口問題 都市・居住に関する問題 交通・通信・貿易に関する問題 民族・領土問題			提出物 授業の取り組み 定期テスト
							計96時間 (55分授業)

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価基準と 評価方法	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究した過程や結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
	[評価方法] 以上の観点をつまみ、授業の取り組み（授業態度・学習活動への参加状況など）、課題の内容、提出状況、定期考査などから、総合的に評価する。			
学習の ポイント	地理Bは地名などを表面的に暗記すればよいという科目ではない。それぞれの国や地域がどのような環境におかれ、どのような文化をもち、どのような生活をしているのか、そしてそこに存在するさまざまな価値観を理解し、世界の諸問題に目を向け、理解・解決をしていく力を養おうと努力することが大切である。また、地図帳をいつでも開き、日々のニュース等に関心をもって現代の世界に大きなアンテナを張り、さまざまな知識や情報を積極的に得ようとする姿勢も大切である。			